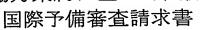
予備審査請求は管轄国際予備審査機関へ直接行わなければならない。 2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。

## 杵協力条約に基づく国際出願

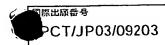


出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求し、 選択資格のある全ての国を選択する。ただし、特段の表示がある場合を除く。

国際予備審查機関記入欄 •

 $\Pi$ 18,12,03

<b>際予備審査機関の確認</b>	ii ii	水書の受理の日	
			出願人又は代理人の容類記号 142119-994
際出願番号	国際出願日 (日. 月. 年)		優先日 (最先のもの) (日. 月. 年)
PCT/JP03/09203	18.07.03		24.07.02
<sup>明の名称</sup> 多層めっき自動車燃料配管部品			
常工欄 出願人			I DOME DE
:名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法) 名も記載)	(は公式の完全な名称を記載	;あて名は郵便番号及び国	- 電話番号:
ニャン・サード こく	OCYO KARUSH	ΙΙΚΙ ΚΔΙSΗΔ	ファクシミリ番号:
三桜工業株式会社 SANOH KOGYO KABUSHIKI KAISHA 306-0023 日本国茨城県古河市本町四丁目2番27号 2-27, Honcho 4-chome, Koga-shi, Ibaraki 306-0023		加入電信番号:	
Japan			出願人登録番号:
<sup>国籍(国名):</sup> 日本国:JAPAN		<sup>住所(国名)</sup> : 日本	国:JAPAN
松原 徳文 MATSUBARA N 306-0041 日本国茨城県古河 c/o Sanoh Kogyo Kabushiki K	市鴻巣758	三桜工業株式会 osu, Koga-shi, Ib	社内 paraki 306-0041 Japan
<sup>国格(国名):</sup> 日本国:JAPAN		<sup>住所(国名)</sup> : 日本	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の類に記載; 笠	と人は公式の完全な名称を記	     載;あて名は郵便番号及び	(国名も記載)
国籍 (国名) :		住所 (国名): 日本	<b>国:JAPAN</b>
その他の出願人が続業に記載されている。			



第Ⅲ欄 代理人又は代表者、通知のあて名				
下記に記載された者は、  代理人 又は				
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記載:あて名は郵便番号及び国 名も記載)	<sup>電話番号:</sup> 03-3211-2321			
7581 弁理士 吉 武 賢 次 YOSHITAKE Kenji 〒100-0005 日本国東京都千代田区丸の内三丁目2番3号	ファクシミリ番号: 03-3211-1710			
富士ビル323号 協和特許法律事務所 Kyowa Patent & Law Office, Room 323,	加入低信番号:			
Fuji Bldg., 2-3, Marunouchi 3-chome, Chiyoda-ku, TOKYO 100-0005 JAPAN	出願人登録番号:			
通知のためのあて名:  代理人又は代表者が選任されておらず、上配枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。				
第IV欄 国際予備審査に対する基本事項				
補正に関する記述:*  1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。				
*記入がない場合は、1)捕正がないか又は国際予備審査機関が補正(原本又は写し)を受領していない場合にのみ、レ印を付すことができる。)。  *記入がない場合は、1)捕正がないか又は国際予備審査機関が補正(原本又は写し)を受領していないときは、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、 2)国際予備審査機関が、見解書又は予備審査報告書の作成開始前に補正(原本又は写し)を受領したときは、これらの補正を考慮して予備審査が開始又は執行される。				
国際予備審査を行うための言語は、日本語であり、  「国際出願の提出時の言語である。 「国際調査のために提出した翻訳文の言語である。 「国際出願の公開の言語である。 「国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。				
第 V 村和 国 の 返去 択 出願人は、選択資格のある全ての指定国 (即ち、既に出願人によって指定されており、かつ特許協力条約第 II 章に拘束されている国)を選択する。				
に耐入は、地球資格のある主(の相定国(はつ、 MC L L L L C L C L C L C L C L C L C L				

U'A	口際出願番号
V	PCT/JP03/09203
,	PC 1/JP03/09203

3....頁

第VI欄 照合欄				
この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IV欄に記載する言語による 下記の書類が添付されている。	国際予備審查機関 記入欄 未 受 領 未 受 領			
<ol> <li>国際出願の翻訳文</li> <li>技</li> <li>特許協力条約第34条の規定に基づく補正書</li> </ol> 女	受 領 未 <sup> </sup>			
特許協力条約第19条の規定に基づく補正書     (又は、要求された場合は翻訳文) の写し				
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明書 (又は、要求された場合は翻訳文)の写し				
6. その他(昔類名を具体的に記載): 枚				
この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。				
1. 🗾 手敬料計算用紙 5. 記名押印(署名)の欠落に	こついての説明書			
2. 個別の委任状の原本 6. コンピュータ読み取り可能	とな形式による配列表			
対付する手数料に相当する特許印紙を貼付した背面 7. ←の他 (書類名を具体的)。	<b>:記載):</b>			
■ 国際事務局の口座への振込を証明する督面				
3. 包括委任状の原本				
4. 包括委任状の写し(あれば包括委任状番号):				
第VII欄 出願人、代理人又は代表者の記名押印				
各人の氏名 (名称) を記載し、その次に押印する。				
吉 武 賢 次				
1. 国際予備審査請求咨の実際の受理の日				
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求告の受理の日の訂正後の日付				
3. 優先日から 1 9 月を経過後の国際予備審査請求書の受理。 ただし、以下の 4,5 の項目にはあてはまらない。	出願人に通知した。			
4. 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内の国際予備審査請求費の受理				
5. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。				
国際事務局記入欄				
国際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受領の日:				